資料２－１

「すべての人が活躍できる愛知」を目指し、産業人材の育成・確保の促進に取り組みます

予算額　１４４，４５６千円

とりまとめ
産業労働部産業人材育成課
人材育成グループ
内線　３４４０・３４４３
(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)052-954-6365

「産業人材育成支援センター」が中心となり、モノづくり愛知の次代を担う産業人材の育成・確保の促進に取り組みます。

愛知県産業人材育成支援センター事業費　１６，６５１千円

◎産業人材育成連携コーディネーターによる産学行政の連携促進

- 職業訓練・研修始め職業能力開発の情報提供・相談
- 中小企業等の技能習得のための訓練、講師派遣等のコーディネート
- 中小企業経営者向けに「あいち経営者人材育成塾」を開催

介護人材育成事業費　８１，９９０千円

◎急速な高齢化により人材確保が急務である介護分野の人材育成

- 介護職経験者等の再就職支援訓練の実施　定員 20 名
- 定住外国人の就職支援訓練の実施　定員 15 名

介護分野子育て女性等就職支援費　１４，８００千円

◎育児等との両立に配慮した在宅型就職支援訓練の実施

- 介護職員初任者研修コース　定員 20 名
- 介護福祉士実務者研修コース　定員 20 名

あいちの担い手育成確保推進費　３１，０１５千円

◎愛知県のモノづくり産業を支える人材の育成・確保

- 産学行政による愛知県産業人材育成連携会議の運営
- 企業 OB を始めとした熟練技能者等による中小企業への技能指導
- モノづくり企業による魅力発信セミナーの開催、１日職場見学・体験

◎技能尊重の精神の醸成を通じた人材の創出

- 技能五輪メダリスト等による小・中学校等での出前講座の実施
- 中小企業若手技能者競技大会の開催
- 少年少女技能大会（アイチータ杯）の開催
- 障害者ワークフェアの開催

あいち人財力強化プロジェクト
イメージキャラクター「アイチータ」

ほかの主な事業

◎次世代計測加工技術者養成事業費	５，３７５千円
◎航空宇宙産業国際競争力強化促進事業費	３８，４１０千円
◎地場産業若者人材確保支援事業費（新規）	５，４５９千円
◎あいち・ウーマノミクス推進事業費	９，１７０千円
◎子育て女性再就職支援事業費	１９，４２９千円
◎技能競技大会費	２３，４５９千円
◎科学技術人材育成推進費	５，７２０千円
◎愛知の発明の日普及啓発事業費（新規）	２８，１１９千円
◎ノーベル賞受賞者顕彰施設整備検討調査費（新規）	９，３６０千円
◎労働総合支援事業費	１９３，９０２千円
◎若年者雇用促進対策費	４９，８３７千円
◎普通課程訓練費	８４，２７３千円
◎離転職者訓練費	１，３６８，３９８千円
◎障害者就労支援事業費	１５，２３９千円
◎精神・発達障害者雇用促進事業費	７，０００千円
◎(政策企画局関係)あいち国際戦略プラン推進費（一部）	６３，２１０千円
◎(健康福祉部関係)社会福祉関係人材育成費	４０７，４３６千円
◎(教育委員会関係)キャリア教育推進事業費	３６，１２６千円

資料２－２

技能五輪全国大会・全国アビリンピックの本県での開催と技能五輪国際大会の本県招致に向けた取組を推進します

産業労働部産業人材育成課
技能振興・技能五輪グループ
内　線　３４５０・３４５１
(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)052-954-6375

予算額　２３，４５９千円

【全国大会ロゴマーク】

AICHI
2019-2020

【全国大会スローガン】
「その技に 誇りと感動 あいちから」

２０１９（平成３１）年度の技能五輪全国大会と２０２０（平成３２）年度の技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催準備を進めるとともに、２０２３年の技能五輪国際大会の招致に向けた取組を推進します。

１　技能五輪全国大会の開催の推進

２０１９年度技能五輪全国大会の推進協議会を設立して大会開催の準備を進めていくとともに、２０２０年度の技能五輪全国大会・全国アビリンピックの大会基本計画を策定します。

２　技能五輪国際大会の招致の推進

２０２３（平成３５）年の技能五輪国際大会の本県招致に向け、調査や経済界等と連携した招致活動を推進します。

３　技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの派遣

技能五輪全国大会等への本県選手団としての参加や成績優秀者の表彰等を行います。

技能五輪全国大会
青年技能者（23 歳以下）が 40 を超える職種で技能レベル日本一を競う大会

全国アビリンピック
障害者（15 歳以上）が 20 を超える職種で技能労働者としての能力を競う大会

技能五輪国際大会
2 年に 1 度、世界各国・地域等の予選会等を勝ち抜いた青年技能者（22 歳以下）が一堂に会し、およそ 50 の職種で技能レベル世界一を競う大会

資料２－３

とりまとめ
産業労働部就業促進課
業務・調整グループ
内線　３４３０・３４３１
(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)052-954-6363

雇用対策を着実に推進します

予算額　２，０２６，１６１千円

○　若年者雇用対策　４９，８３７千円

◆学生に中小企業に目を向けていただくための取組

中小企業経営者と学生との交流会を開催するとともに、「メッセナゴヤ２０１７」に学生向け企業研究支援ブースを出展

◆ヤング･ジョブ･あいちの運営

ヤング・ジョブ・あいち（中日ビル１２階）において、国と県が連携し、就職相談から職業紹介までをワンストップで支援

◆正規雇用拡大のための支援

若年求職者等を対象とした「就職支援塾」の開催及び中小企業を対象とした専門家派遣等の実施

◆東三河地域の若者人材確保支援

東三河地域への若者の流入・定住を促進

○　障害者雇用対策　４５，６０７千円

◆障害者雇用促進

障害者就職面接会の開催、雇用優良事業所の表彰を実施

◆障害者就労支援事業

中小企業への支援を強化するため、就労支援者の派遣、相談窓口の充実とともに、雇用理解促進のための出前講座等を新たに実施

◆中小企業応援障害者雇用奨励金（新規）

中小企業が初めて障害者を雇用した場合に奨励金（６０万円）を支給する制度を創設　※自治体としては初めての制度

◆精神･発達障害者雇用促進事業

精神障害者の雇用の受け皿となる企業の開拓に努めるとともに、精神障害者の就職や職場定着を支援

○　ＵＩＪターンの促進　４０，０８５千円

東京にＵＩＪターン支援拠点を設置し、就職イベントの実施や相談窓口を開設

○　プロフェッショナル人材の雇用支援　４７，６５８千円

県内中小企業が抱える経営課題等を解決するプロフェッショナル人材のニーズ発掘とマッチングを支援

○　公共職業訓練　１，８４２，９７４千円

◆高等技術専門校の施設設備整備

高等技術専門校の見直しに伴う施設設備整備の検討調査及び改修工事の実施設計

◆離転職者対象訓練

･雇用セーフティネット対策訓練(民間委託)

再就職を支援するため、介護･福祉、IT 等の訓練を実施

･高等技術専門校の短期課程訓練

再就職を支援するため、電気、建築等の訓練を実施

◆学卒者対象訓練(普通課程訓練)

機械、電気、建築分野の総合的な訓練を実施

◆障害者職業訓練

名古屋校、岡崎校に知的障害者コースを新たに設置するとともに、愛知障害者職業能力開発校で訓練を実施

資料２－４

産業労働部産業科学技術課
科学技術グループ
内　線　3383・3382
(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)052-954-6351

愛知･名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者を顕彰する施設の整備の具体化に向けて準備を進めます

予算額　９，３６０千円（新規）

次代の科学技術を担う人材の育成や当地の先進性・魅力の発信を図るため、愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝える施設の整備について、名古屋市科学館サイエンスホールでの具体化に向け、施設構成や展示内容などの検討調査を名古屋市と共同で実施します。

○愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者

氏名	受賞年	受賞理由	在籍実績のある機関
野依　良治	2001 年化学賞	キラル触媒による不斉反応の研究	名古屋大学
小林　誠	2008 年物理学賞	CP 対称性の破れの起源の発見	名古屋大学
益川　敏英	2008 年物理学賞		名古屋大学
下村　脩	2008 年化学賞	緑色蛍光タンパク質の発見	名古屋大学
赤﨑　勇	2014 年物理学賞	青色発光ダイオードの発明	名古屋大学、名城大学
天野　浩	2014 年物理学賞		名古屋大学、名城大学
大隅　良典	2016 年生理学・医学賞	オートファジーの仕組みの解明	基礎生物学研究所

○整備場所
・名古屋市科学館サイエンスホール
　（生命館地下２階）

○展示内容のイメージ
・受賞者の足跡や愛知・名古屋との関わり
・研究内容や研究成果の活用事例　　など

名古屋市科学館（名古屋市提供）

資料２－５

とりまとめ
産業労働部産業振興課
次世代産業室
次世代産業第二グループ
内線　３３９４・３３９５
(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)052-954-6352

世界的なロボット競技大会や青少年の発明コンテストを開催し、日本一のモノづくり県である愛知を発信します

予算額　１０５，４１９千円（新規）

ロボット工学と人工知能の融合、発展を目的とした自律移動ロボットの国際的な競技大会「ロボカップ 2017 世界大会」を、ポートメッセなごや等において、名古屋市等とともに開催します。

併せて、青少年の創造性と国際感覚を養うため、同会場において「世界青少年発明工夫展 2017」を開催します。

ロボカップ 2017 世界大会

ロボカップ 2017 世界大会開催費

予算額　77,300 千円

主　　催　ロボカップ 2017 名古屋大会開催委員会（愛知県、名古屋市等で構成）、ロボカップ国際委員会等

競技内容　サッカー、災害現場を想定した競技など

開催期間　平成 29 年 7 月 25 日(火)～31 日(月)（7 日間）

ロボカップサッカー

ロボカップレスキュー

世界青少年発明工夫展 2017

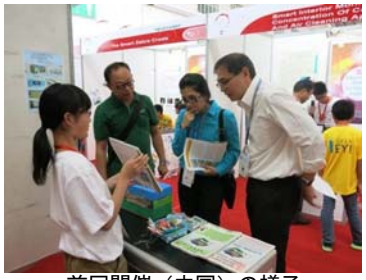
愛知の発明の日普及啓発事業費

予算額　28,119 千円

主催・共催　(公社)発明協会、愛知県、名古屋市

内　　容　世界の青少年が創作した発明作品の展示・コンテスト等

開催期間　平成 29 年 7 月 27 日(木)～29 日(土)（3 日間）



前回開催（中国）の様子
(公社)発明協会提供

＜併催行事＞

愛知の発明の日記念講演会

主　　催　愛知県、中部経済産業局、(一社)愛知県発明協会

内　　容　知的財産の重要性についての記念講演会

開催日程　平成 29 年 7 月 28 日(金)

資料２－６

教育委員会高等学校教育課
職業指導グループ
内線　３９０５・３９１８
（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）052-954-6787

ＳＴＥＭ教育を推進します

予算額　１６，１７８千円（新規）

本県の「ものづくり産業」を維持・発展させていくため、県立高等学校においてＳＴＥＭに重点を置いた教育を推進し、「ものづくり愛知の未来を担う理数工学系人材」を育成します。

１　あいちＳＴＥＭハイスクール研究指定事業

県立高校（工業科、農業科、普通科、総合学科）より研究校を５校指定し、理工系大学と連携して、ＳＴＥＭに重点を置いた教育課程を実施する。

２　あいちＳＴＥＭ教育力強化事業

県立高校（職業学科）８校に支援員を派遣し、ＳＴＥＭ分野を強化するための教材開発等を通して教員の指導力向上を図る。

３　あいちＳＴＥＭ能力育成事業

○　あいち科学の甲子園
理数的能力の向上を図る競技大会

○　科学三昧 in あいち
科学技術に関わる先進的教育活動の発表及び情報交換

○　知の探究講座
大学と連携して自然科学や情報技術等について学ぶ探究講座

○　技の探究講座
企業と連携して技術・技能を習得する探究講座

STEM教育とは…

Science（科学），Technology（技術），Engineering（工学），Mathematics（数学）の4つの分野に重点を置いた教育を指す。